



## 岸田めぐみ (ネット・社民の会)

循環型のまちをめざして

問 ごみ対策課から資源循環推進課に課の名前を変更した。取組みの変化について伺う。

答 変更以前から4Rを推進し、ごみの減量の啓発や市民と協働の取組みを進めてきた。さらに強く進めていく。

問 本市がめざす循環型のまちとは、どういうまちか伺う。

答 考え方として資源を大切にすると共にごみの発生を抑制し、化学燃料への依存を減らし、発生したごみは資源として再利用・再生する社会システムを構築することで、気候危機対策と持続可能な社会の構築をめざす。

問 環境の拠点であるグリーンライブセンターに、資源循環とごみ減量の推進に関する市民啓発の委託を出している。運営事業者には、コーディネート力を生かして取り組んでほしいが、いかがか。

答 市民活動が分野を超えて連携することで相乗効果を生むと考えており、必要であると認識している。いきなり全ての市民活動のコーディネートは難しいが、一つ一つ市民活動の和を広げていきたいと考えている。



## あらたに隆見 (公明党)

1.学びの多様化学校拡充に向けて  
2.働き方改革で行政コストの大幅削減を!



問 不登校に寄り添う学びの多様化学校分教室を拡充する要望も多いが、2施設目設置に向けての状況を伺う。

答 令和9年4月諏訪複合教育施設に開設を検討している。

問 新施設への通学は自転車通学も認めてはどうか。

答 安全確保を優先にニーズも踏まえながら検討する。

問 再びパンデミックが起こった場合の業務体制やその訓練はどのようにしているのか伺う。

答 現在、訓練も含めて業務継続ができる計画を来年5月までに完成できるように取組んでいる。

問 選ばれる職場、行政コスト削減のために計画や契約書作りなどはテレワークを充実して行うべきではないか。

答 必要と思っているがツールの関係もあり検討していく。

問 220億円を超える現在の新庁舎建設規模より、数十億円の削減効果が見込めるテレワーク等、庁内の働き方改革を早急に進めるべきと考えるが、市長の見解を伺う。

答 テレワーク等、業務改善のためのDX推進が共通でできるように国や東京都に要望している。

テレワークの充実で  
新庁舎規模  
の縮小を!



## 池田けい子 (公明党)

予防医療の推進で健幸生活!  
健康寿命を伸ばして医療費削減!

問 担い手の高齢化など、介護・フレイル予防の取組みを住民主体で行っていくには限界がある。民間企業等の協力、学生の力の活用を考えるべきではないか。

答 重要な点だと考えている。様々な関係機関と連携をして、健康寿命延伸をめざしていく。

問 近年新型タバコの使用、睡眠障害の増加、若い女性のやせすぎ(低体重)の健康被害が危惧される。生活習慣改善として、対策を急ぐべきと考えるかいかがか。

答 健康リスク等課題があると認識をしている。必要な対策を考え、学校でも引き続き周知啓発に努める。

問 健康診断やがん検診の啓発とともに、がん検診等の最新情報にも注視し、予防医療に取り組むべきではないか。

答 受診率向上をめざし、医療機関等の協力を得ながら検診の質の維持・整備に努める。

問 かかりつけ歯科医の有無、定期的な歯科検診の受診状況を成果指標として追っていくことを要望したいが、いかがか。

答 世論調査の中で把握していくたい。



## 橋本由美子 (日本共産党)

1.GIGAスクール構想推進の前に  
現場の声を反映した分析を  
2.リチウムイオン電池について

問 一人一台のタブレット利用に関して思考力や健康への影響をどう捉え対策を講じているのか。デジタル教科書の導入に関しての考えも伺う。

答 表面的な理解にとどまることや視力など健康面については配慮した教育に努めている。教科書は紙、デジタルを併用し教育効果を高めていきたい。

問 タブレット買換え時、児童生徒、教師の個人情報をどのように守っていくのか伺う。

答 日常も個人情報の保護に重きを置いているが、買換え時の消去は特に配慮していきたい。

問 リチウムイオン電池などが原因と考えられる清掃工場での事故について発生状況を伺う。

答 工場内での発火事故は増加傾向である。

問 燃えないごみ袋に入れるなど危険が生じないように、袋に印刷するなど対策が必要ではないか。

答 啓発事業とともに、燃えないごみ袋に注意喚起の印刷をすることも検討していきたい。

